

授業科目 スポーツ政策論

【担当教員名】 三宮 博己		対象学年	2	対象学科	スポ	
		開講時期	後期	必修選択	選択	
		単位数	2	時間数	30	
【カリキュラムポリシーとの関連性】						
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
◎	○	◎	◎	○		
【概要・一般目標：G10】 日本のスポーツ政策に関する行政機関の仕組みを始め政策決定プロセス、スポーツ政策実現に関する現状を明らかにします。また、近年話題となっている指定管理者制度、ネーミングライツ、スポーツ振興くじなど直面する諸課題についても取り上げます。						
【学習目標・行動目標：SBO】 1 スポーツ政策論の概念を理解するとともに、スポーツ政策論を巡る背景、状況等について理解する。 2 現代社会におけるスポーツ政策の重要性を理解するとともに、国や地方自治体が展開している諸施策について考察する。 3 諸外国のスポーツ政策を理解し、日本のスポーツ政策と比較・考察する。 4 国民のスポーツへの認識や活動の状況から、今後講じるべき効果的なスポーツ政策を工夫する。						
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	スポーツ政策論とは				講義	
2	スポーツ政策を巡る背景・状況					講義・討論
3	日本のスポーツ振興政策（その1）					講義・討論・発表
4	日本のスポーツ振興政策（その2）					講義
5	地方のスポーツ振興政策					講義
6	諸外国のスポーツ振興政策（欧米・アジアのスポーツ政策）					講義
7	高齢者・女性・障害者・子供のスポーツ政策					講義
8	球技の文化論					講義・討論
9	スポーツイベントと地域活性化					講義・討論
10	日本の競技スポーツ政策（国際競技力向上をめぐる問題）					講義
11	日本のプロスポーツ政策					調査・討議
12	スポーツ振興くじ					講義・討論
13	指定管理者制度とネーミングライツ					講義・討論
14	今後のスポーツ政策（スポーツ立国戦略）					講義
15	試験					
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		特になし（毎時間資料を配布する）				
参考書						
その他の資料						
【評価方法】 出席状況、授業態度、テストの状況から総合的に評価する。			【履修上の留意点】 主体的な活動を促進するため、自ら考える場、討論などを多く取り入れる。			